



厚生労働省 三重労働局発表

令和2年11月30日(月)

担 当	厚生労働省三重労働局職業安定部 職業安定課長 小西 克明
	職業安定課長補佐 堀 保 地方労働市場情報官 大西 一幸 電話 059-226-2305

報道関係者 各位

## 「雇用情報モニター報告集計結果(令和2年度第3・四半期)」

三重労働局では、県内企業・経営者団体等に雇用情報モニターを委嘱し、企業活動の実績と見通し、雇用動向等についての報告を、年4回(四半期毎)提出いただいております。

このたび、令和2年度第3・四半期(令和2年10月～12月)実績見込み及び次期(令和3年1月～3月)見通しの集計結果を取りまとめましたので公表します。

### 調査結果 主な項目の概要

#### ○ 受注・生産状況の実績見込みと今後の見通し

「増加」が33.3%で増加、「減少」が21.6%で減少、D I(「増加」-「減少」)は13.3で前期と比べ33.3ポイント上昇。次期見通しは6.7で下降予想。

#### ○ 企業収益の実績見込みと今後の見通し

「増加」が28.6%で増加、「減少」が30.2%で減少、D I(「増加」-「減少」)は▲1.6となり、前期と比べ25.4ポイント上昇。次期見通しは1.6で上昇予想。

#### ○ 稼働操業状況の実績見込みと今後の見通し

「増加」が25.0%で増加、「減少」が21.7%で減少、D I(「増加」-「減少」)は3.3となり、前期と比べ23.7ポイント上昇。次期見通しは3.3で横ばい予想。

#### ○ 設備投資の見込み

「ある」が17.5%で1.4ポイント増加、「ない」が54.0%で2.5ポイント減少。D I(「ある」-「ない」)は36.5で3.9ポイント上昇。

#### ○ 従業員の過不足判断

「過剰」は0.0ポイントで減少、「やや過剰」は8.7ポイントで減少、「不足」は1.6ポイントで増加、「やや不足」は15.1ポイントで増加。D I(「過剰」-「不足」)は▲8.0となり、22.3ポイント減少(過剰判断が減少)。次期見通しは▲4.8で「過剰」判断はやや増加の予想。

#### ○ 雇用調整の状況

実施事業所数は27事業所(42.9%)で、前期の38事業所(64.4%)より11事業所の減少。

## ○資料

別添 「令和2年度 雇用情報モニター報告集計」

## ○参考

- ・調査対象 地域経済にかかわりの深い企業の中から公共職業安定所長の推薦により労働局長が委嘱した、民間企業及び事業主団体
- ・調査方法 調査票により、モニターから公共職業安定所長に郵送等により提出
- ・調査時期 令和2年度第3四半期（令和2年10月～12月）実績見込み及び次期（令和3年1月～3月）見通しについて
- ・モニター内訳 民間企業64社（建設業2、製造業48、運輸業2、小売業7、サービス業等5）事業主団体等8
- ・回答状況 民間企業64社、事業主団体等8団体

（注）集計結果には、業種別等の偏りがあると思われるのでご了承ください。

# 令和2年度 雇用情報モニター報告集計

令和2年度 第3・四半期  
三重労働局職業安定部職業安定課

令和2年度第2・四半期（2年7月～9月 以下前期）においては、多くの指標のD Iがマイナスとなりましたが、2年度第3・四半期（2年10月～12月 以下今期）においては、受注・生産動向のD Iはプラス、企業活動状況の多くのD Iがマイナスとなりました。

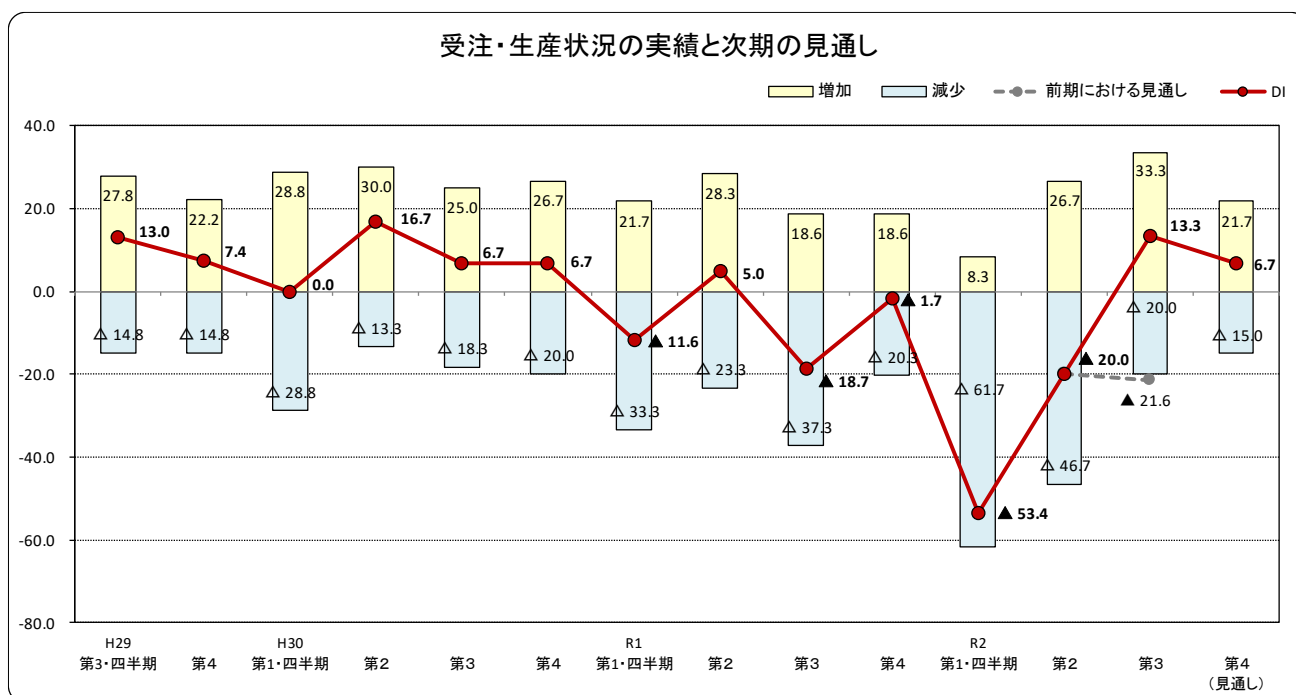
次期の予想においては、受注・生産動向はやや下降、企業活動状況はやや上昇の見通しとなっています。

## 1. 受注・生産動向について

### 【受注・生産状況の実績見込みと今後の見通し】

今期の受注・生産状況では、「増加」が33.3%、「減少」が21.6%で、D I（「増加」－「減少」）は13.3で前期と比べ33.3ポイント上昇し、5期ぶりにプラスとなりました。

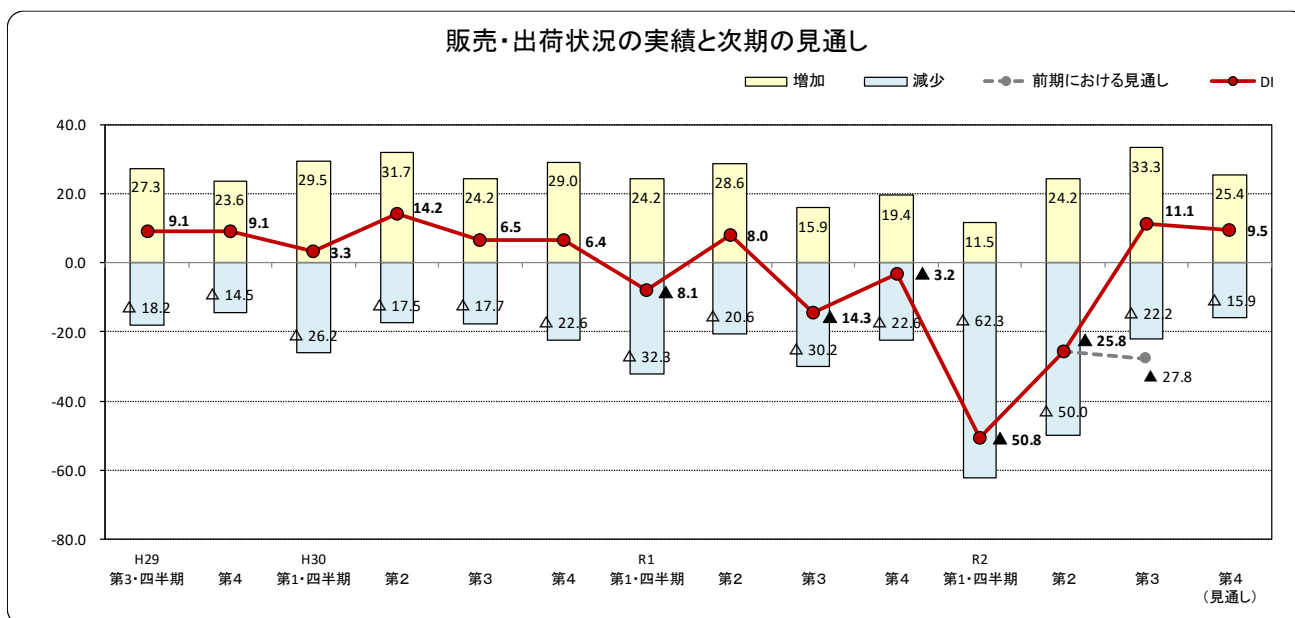
次期の見通しについては、D Iは6.7で、下降する予想となっています。



### 【販売・出荷状況の実績見込みと今後の見通し】

今期の販売・出荷状況では、「増加」が33.3%、「減少」が22.2%で、D I（「増加」－「減少」）は11.1で前期と比べ36.9ポイント上昇し、5期ぶりにプラスとなりました。

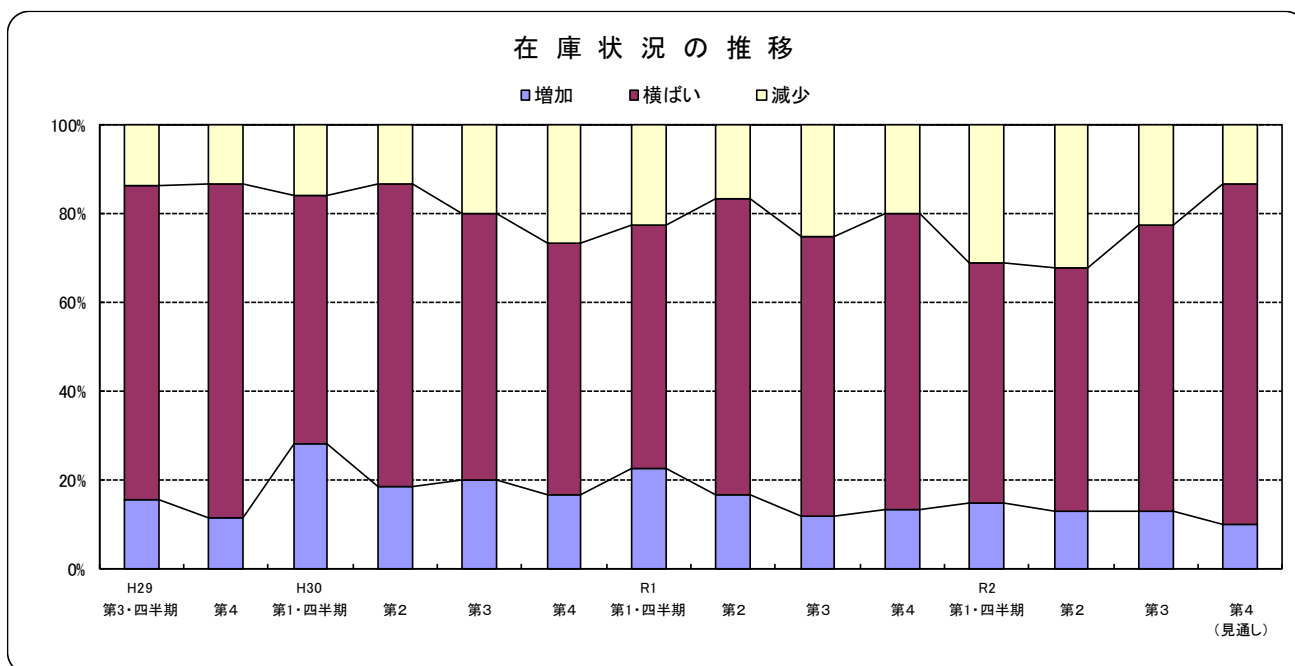
次期の見通しについては、D Iは9.5で、下降する予想となっています。



### 【在庫状況】

今期の在庫の状況についてみると、「増加」が横ばい、「減少」が減少、43期連続して「横ばい」が最も多くなりました。

次期の見通しについては、「横ばい」が増加し、「増加」が減少する予想となっています。

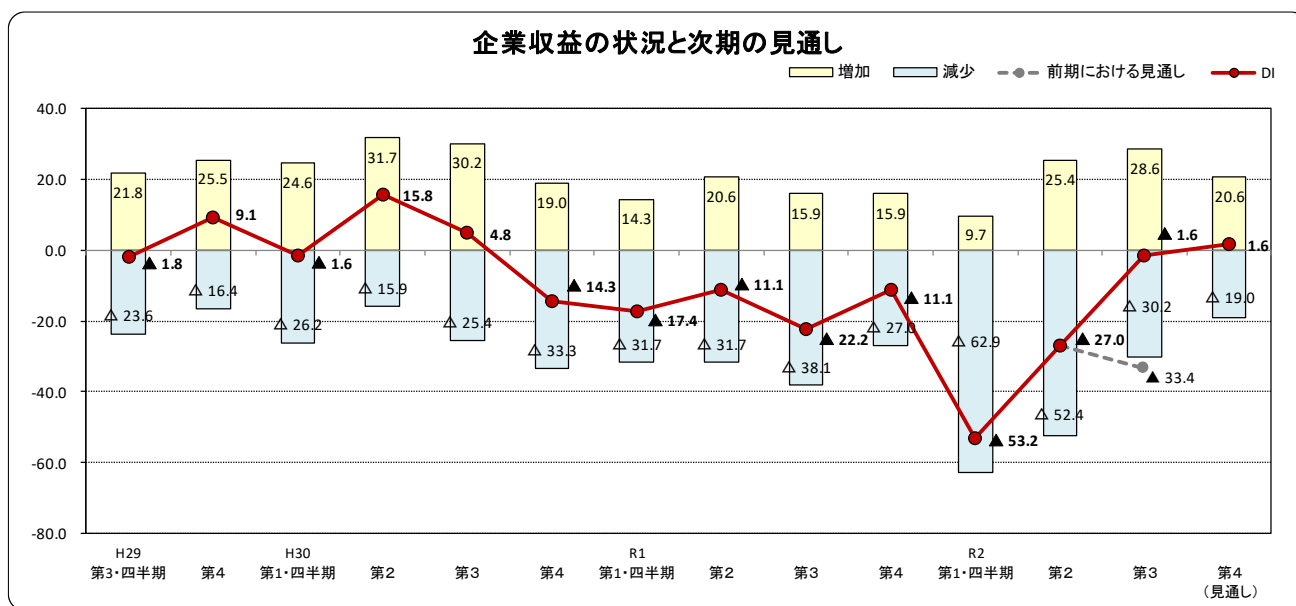


## 2. 企業活動の状況について

### 【企業収益の実績見込みと今後の見通し】

今期の企業収益の状況では、「増加」が28.6%、「減少」が30.2%で、D I（「増加」－「減少」）は▲1.6となり、前期と比べ25.4ポイント上昇したが、8期連続でマイナスとなりました。

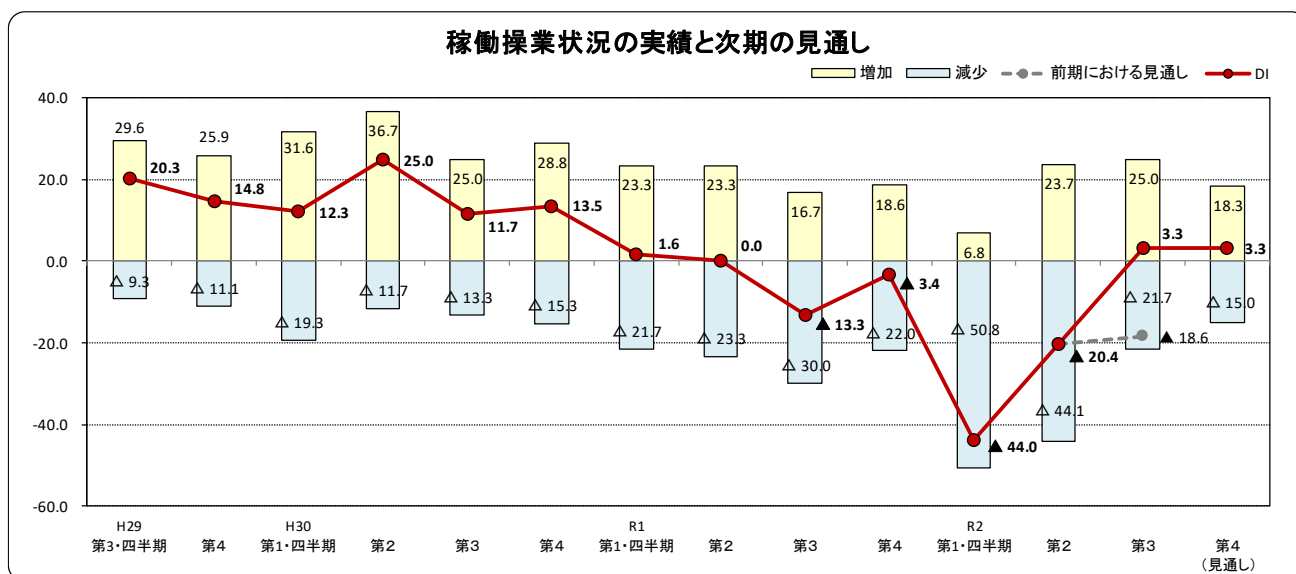
次期の見通しについては、D Iは1.6で、上昇する予想となっています。



### 【稼働操業状況の実績見込みと今後の見通し】

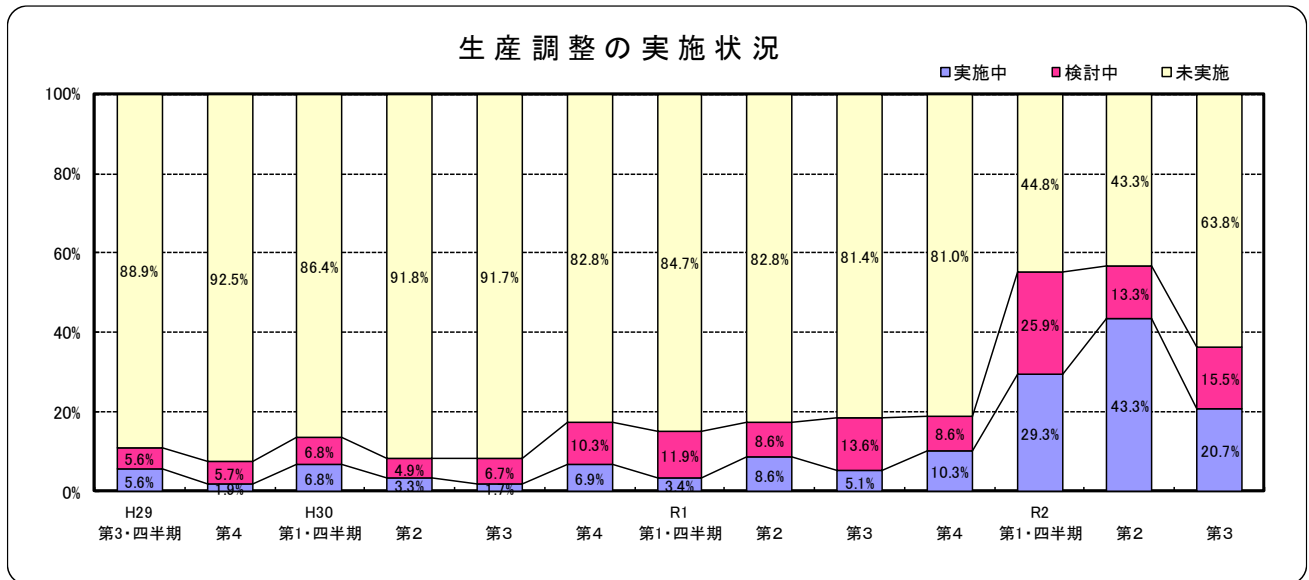
今期の稼働操業状況では、「増加」が25.0%、「減少」が21.7%で、D I（「増加」－「減少」）は3.3となり、前期と比べ23.7ポイント上昇し、5期ぶりにプラスとなりました。

次期の見通しについては、D Iは3.3で、横ばいの予想となっています。



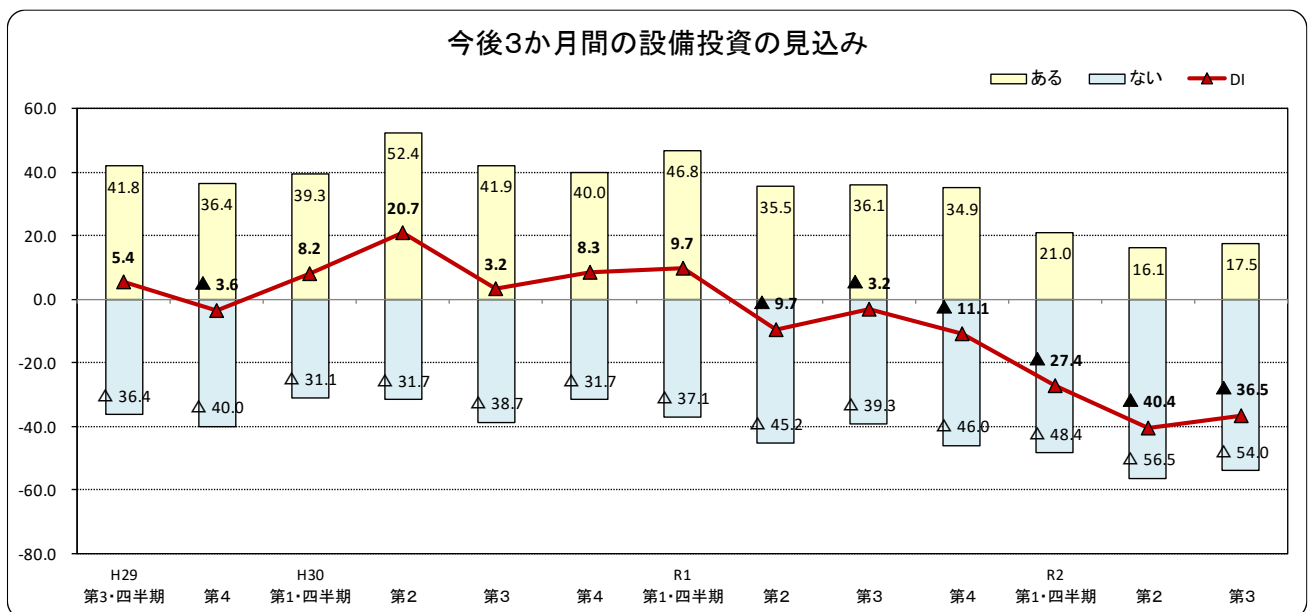
### 【生産調整の状況】

生産調整を「未実施」とした事業所は、今期は 63.8%で前期と比べ 20.5 ポイント増加、「検討中」は 15.5%で 2.2 ポイント増加、「実施中」は 20.7%で 22.6 ポイント減少となりました。



### 【設備投資の見込み】

今後3か月間の設備投資の見込みでは、「ある」とする事業所の割合は 17.5%で前期と比べ 1.4 ポイント増加、「ない」とする事業所の割合は 54.0%で 2.5 ポイント減少、D I（「ある」-「ない」）は▲ 36.5 となり、前期と比べ 3.9 ポイント上昇しました。

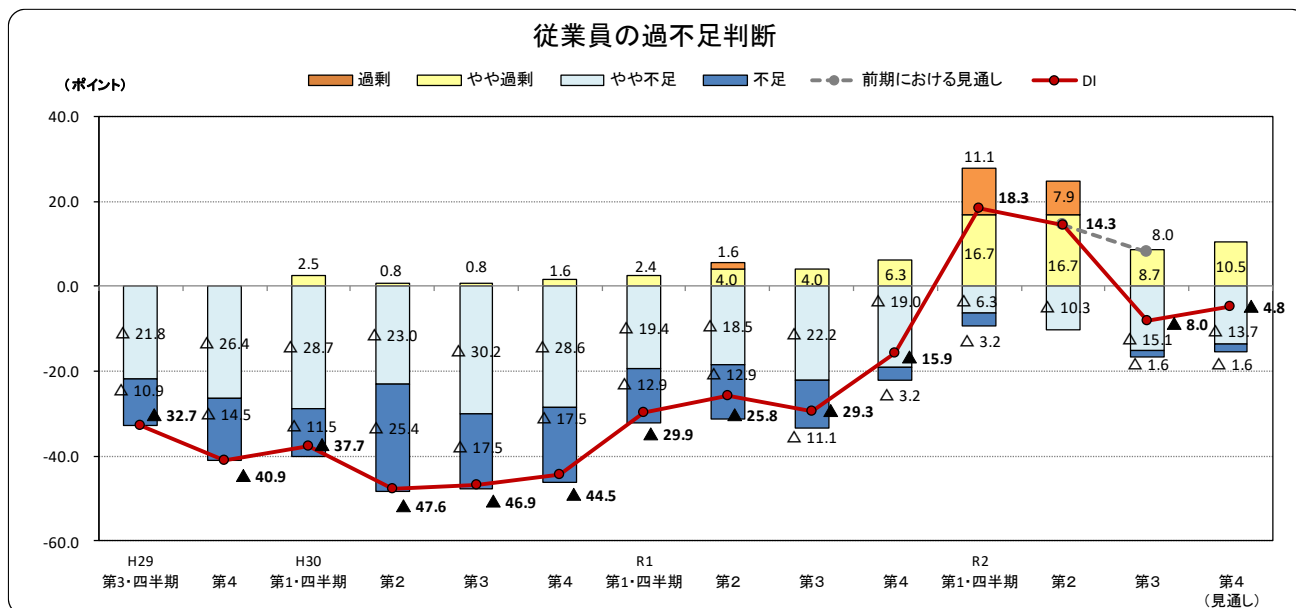


### 3. 雇用動向について

#### 【従業員の過不足判断】

「過剰」は0.0ポイントで7.9ポイント減少、「やや過剰」とする事業所は8.7ポイントで8.0ポイント減少、「不足」は1.6ポイントで1.6ポイント増加、「やや不足」とする事業所は15.1ポイントで4.8ポイント増加し、DI（「過剰」-「不足」）は▲8.0となり、前期より22.3ポイント減少（過剰判断が減少）して、3期ぶりに不足判断が過剰判断を上回りました。

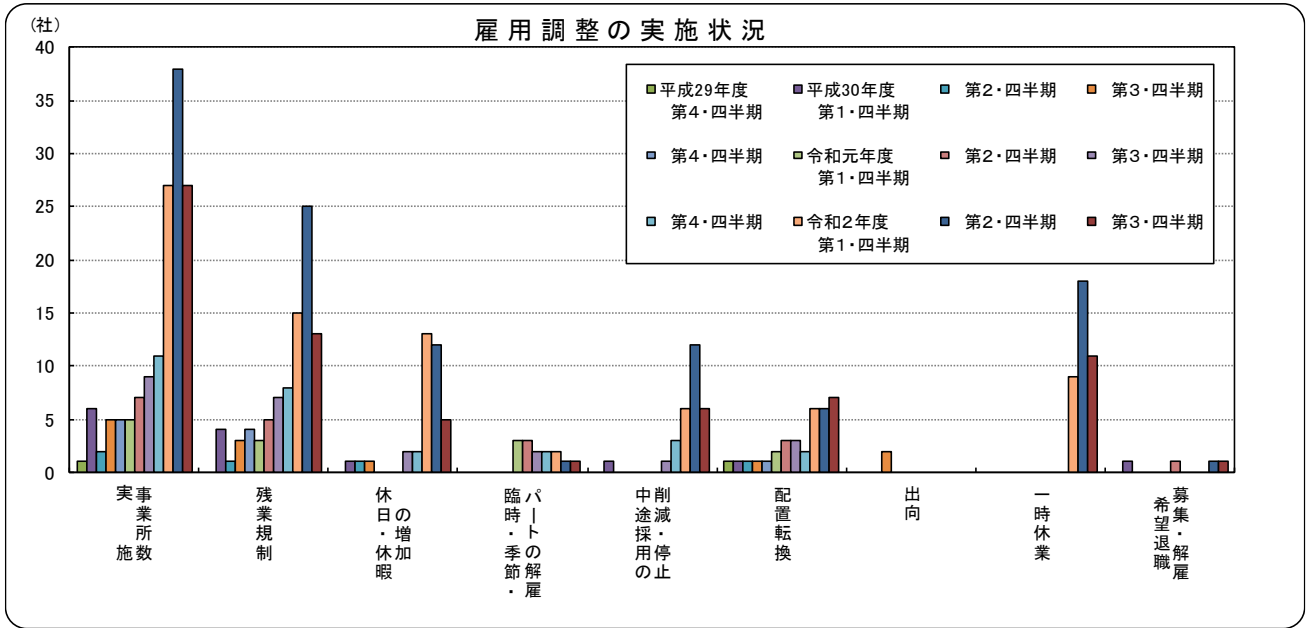
次期の見通しについては、DIは▲4.8で、過剰判断はやや増加の予想となっています。



#### 【雇用調整の状況】

雇用調整を実施している事業所数は、今期は27事業所（42.9%）で、前期の38事業所（64.4%）より11事業所の減少となりました。

	合計	実施なし	予定あり	実施事業所数	残業規制	休日・休暇の増加	臨時・季節・パートの解雇	中途採用の削減・停止	配置転換	出向	一時休業	希望退職募集・解雇
平成29年度 第4・四半期	53	52	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0
平成30年度 第1・四半期	60	54	0	6	4	1	0	1	1	0	0	1
第2・四半期	62	58	2	2	1	1	0	0	1	0	0	0
第3・四半期	60	53	2	5	3	1	0	0	1	2	0	0
第4・四半期	59	53	1	5	4	0	0	0	1	0	0	0
令和元年度 第1・四半期	61	56	0	5	3	0	3	0	2	0	0	0
第2・四半期	62	54	1	7	5	0	3	0	3	0	0	1
第3・四半期	62	52	1	9	7	2	2	1	3	0	0	0
第4・四半期	62	51	0	11	8	2	2	3	2	0	0	0
令和2年度 第1・四半期	61	25	9	27	15	13	2	6	6	0	9	0
第2・四半期	59	18	3	38	25	12	1	12	6	0	18	1
第3・四半期	63	33	3	27	13	5	1	6	7	0	11	1



<主なコメント>

ほぼすべての回答から新型コロナウイルスの影響があることが報告されている。

- 工期延期で収益は低下傾向、長時間労働縮減のため今後技術職が不足する可能性あり。(建設業)
- 挽回生産で収益は若干改善したが通期ではまだ影響が大きく設備や備品購入を抑制中。(製造業)
- 9月以降受注が増加傾向で次期も同様の見込。採用は苦戦し不足感は否めない。(製造業)
- 観光客増による売上増で収益は改善傾向であるが、前年並みでは戻っていない。(製造業)
- 例年と比べ、さらに受注減で減収傾向。残業規制や配置転換、休業を予定。(製造業)
- 稼働状況の改善に伴い休業規模は縮小傾向。(製造業)
- 顧客の停滞で受注減、今後の操業に不透明感あり。残業抑制、休日増、休業を検討中。(製造業)
- 回復の兆しが本格化するか見守っている状況。従業員は需要回復に備え人員調整せず。(製造業)
- コロナ需要から通常生産に戻り順調に推移。技能実習生の受入不可で人件費増だが、資源価格の低下で利益は圧迫されていない状況。(製造業)
- 家庭用は回復したが外食向けは回復せず冬物商材も厳しい。人員は応援シフトで対応。(製造業)
- 生産・収益は当初の計画程度に回復し、今後も同様に推移する見込み。人員不足は派遣社員と正社員の中途採用で対応。(製造業)
- 販売減で生産量も低下したため、費用の抑制、人員の適材配置で対応。(製造業)
- 8月以降の生産量は年初の計画にほぼ戻っており、今後も横ばいの見通し。(製造業)
- 公共事業が好調で次期も増加が見込。従業員は営業と管理監督にやや不足感があり。(製造業)
- 需要減が継続しているため減産基調で一時帰休を検討中。(製造業)
- 受注はコロナ前に戻りつつあり収益・稼働状況とも改善傾向。配置転換で人員不足を調整。(製造業)
- 売上減がこの先も続く見通し。残業を削減し不足人員はパートとアルバイトで補充。(小売業)
- GoTo トラベルで予想以上に改善したが、キャンペーン終了後は反動で大幅減の見込み。(宿泊業)
- 介護業界は各種支援策の影響もなく収益等は厳しい状況。看護師の採用が困難。(介護事業)